

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年11月分)

1. 調査実施期間 平成22年 10月20日 ~11月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

11月分の回答企業数は41社、回収率は91.1%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		22/11月	12月	23/1月
仕入動向	国産材	△ 4.7	△ 10.9	△ 17.2
	外材	△ 12.8	△ 9.0	△ 23.1
販売動向	国産材	△ 7.8	△ 15.6	△ 17.2
	外材	△ 6.6	△ 11.8	△ 21.1
在庫動向	国産材	△ 6.5	△ 4.8	△ 14.5
	外材	△ 6.6	△ 10.5	△ 14.5

仕入は、国産材、外材とも年末・年始向け、マイナス幅が大きくなり、厳しい環境下である。

販売も不需要期を迎え国産材、外材ともマイナス幅が拡大して低調である。

在庫は、国産材、外材ともマイナス幅やや拡大基調で推移。

全因子がマイナスと消極的な荷動き模様が注視されよう。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	22/11月	12月	23/1月
スギ正角(グリーン)	2.4	0.0	△ 2.4
スギ正角(KD)	0.0	2.2	△ 2.2
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	4.3	0.0	△ 2.2
米ツガ正角(現地挽)	△ 2.4	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	△ 2.3	0.0	0.0
米マツ平角	△ 2.4	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	2.1	2.1	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 21.7	△ 8.7	△ 4.5
レッドウッド集成平角	2.8	△ 5.6	0.0
型枠合板(国産)	△ 5.0	0.0	△ 5.0
型枠合板(輸入)	△ 2.5	0.0	△ 7.5
針葉樹合板	△ 2.8	△ 2.8	△ 8.3

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、ヒノキ土台角とも小幅プラスないしゼロから、1月は小幅マイナスに転じた。

米ツガ正角、割物、防腐土台角いずれも小幅マイナスないしゼロ。米マツも同様である。

また北洋アカマツタルキは小幅プラスがゼロとなった。

WW集成管柱大きなマイナス一気に縮め回復の様相みられる。RW集成平角は小さなプラスからゼロないしマイナス。

合板(針葉樹を含む)は小さなマイナスないしゼロといずれもやや弱含みでの推移。

1.荷動き				
仕入 動向	米マツ一般材丸太は、米物輸出価10月積み価格が日本向けゾートでは若干下げ、中国向けゾートは上げと、中国の買いは旺盛。加物はカスケード良材太物丸太が大幅な出材減から他国との取り合いとなっている。(東京:米材問屋) 米加、北欧とも仕入れは若干下がったが売りも下げている状況。(東京:米材問屋) 主力商品の入荷が極端に細っていて打つ手なし。(東京:米材問屋) ドル安のため米材は値下がり傾向。(東京:米材問屋) スギKD材の仕入れ難しい。納期1ヶ月かかる。外材特に変化無い。(東京:外材集成材問屋) 産地の原木不足、通貨高から産地価格は上昇。日本向けの生産から撤退する工場も増加。(東京:南洋・中国材問屋) 原木の出材が悪く製品の入荷は少ない。(東京:南洋材問屋) 丸太不足で入荷大幅減少。(東京:南洋材問屋) スギKD材の入荷遅れ気味。丸太全般に高値、出材量は増加。(東京:国産材問屋) スギ柱角良材相変わらず少ない。全国的に丸太少なく製品価格に響かないのが不思議なくらい。(東京:国産材問屋) 10月中旬以降荷動き悪く必要な物以外は仕入れ控えている。(東京:国産材問屋) 秋田スギが丸太不足でメーカーは取り合い、価格も上昇。製品も値上げになるかも。(東京:国産材問屋) 一般流通はプレカットの好調さに比べてあまり荷動きよくない。弊社は1月にセールを予定のため12月に多目の仕入れになる。1月のセール販売に期待。(東海:外材問屋) 建売住宅の関連企業は多忙な様子。忙閑が両極端。全体的には変化なし。(大阪:仲買小売)			
	販 売 動 向	国内京浜マーケットでは、コースト系丸太の荷動きは依然低調。一方カスケード系では堅調な引合いが続いており、差別化が進んでいる。(東京:米材問屋) 徹底的した当用買いが多く商売単位が益々細かくなっている。(東京:米材問屋商品不足、有れば売れる。(東京:南洋材問屋) 細かい注文、急ぎの納期と相変わらずだが産地価格上昇分の転嫁が出来ず採算が合わない。(東京:南洋・中国材問屋) 注文材の仕事が目立つ。バンドル売りする程在庫が無いのでバラ売りで対応している。(東京:南洋材問屋) 売上は年末にかけて少しずつ減少してくると思われる。(東京:外材集成材問屋) 10月をピークに少し売上が落ちてきた。(東京:米材問屋) 10月はまあまあの動き。(東京:国産材問屋) 造作材の動きがヒノキ、スギとも低調でまとまった動き皆無に等しい。集成材の化粧貼、既製品造作の動きも悪い。(東京:国産材問屋) 増改築の現場が出て構造材が動いてきた。(東京:仲買小売) 仕入高への対応に厳しさを感じる。(東京:国産材問屋) 断熱材の不足でその手当てに追われている。12月以降の断熱材手当てが出来ない仕事は断っている。早くも来年2月以降の話に対応している。1月は仕事が無いだろう。(東京:仲買小売) 新築・リフォーム物件は横ばい傾向。小規模ゼネコンの仕事はそこそこ続いたが、来月以降の見通しは決して明るくなくさそう。(東京:仲買小売) 荷動き不振状態が続いている。ビルダー絶好調、マンション好調、分譲住宅不振、町場工務店全く不調。(東京:仲買小売) 今年一杯は荷動き活発だが来年1月からの荷動きが又無くなる気配。(東海:仲買小売) 大型物件(50~70坪)の新築が少し出てきた。11、12月は少し動きがありそう。(大阪:仲買小売) 構造材が入らず本当に困っている。仕事はまったく閑。(大阪:仲買小売)		
		在 庫 動 向	京浜港へはカスケード系丸太の入荷に特化しており、入出庫のバランスは取れていることから、不良在庫は見当たらない。(東京:米材問屋) 入荷しない分徐々に減少している。カナダ材の前途は多難となってきた。(東京:米材問屋) 先高感がなくなり在庫の積み増しが無いよう注意している。(東京:米材問屋) 入荷が少なく在庫は減少。年内このペースは変わらないと思われる。(東京:南洋材問屋) 現状維持で推移させる。(東京:外材集成材問屋) 補充しないため減る一方。(東京:国産材問屋) 一時的にまとまった入荷も見られたが在庫全体では少ない。(東京:南洋・中国材問屋) 在庫増加気味、販売に不足。(東京:国産材問屋) 限りなく減らす方向へ向かう。(東京:仲買小売) 断熱材手当てには非常に苦労している様子。(東京:仲買小売)	
			2.価格動向	
			スギ正角	材が不足気味だが価格変動少ない。(東京:問屋) スギ羽柄材の一部が値上げ。(東京:問屋) KDよりグリーン材へ生産をシフト、KD材入荷の遅れが目立つ。(東京:問屋) 集成材、羽柄材は受注多いが、無垢の柱の扱いはあまり多くない。価格横ばい。(東海:問屋) 材不足による価格上昇が浸透してきた。(東京:仲買)
			ヒノキ正角	90角はやや強気。(東京:仲買)
			土台角	ヒノキが今非常に安く入るからうれしい。(東海:仲買)
			米ツガ	角の売行きは悪い、価格も下げ。割物は入荷も少なく据え置き。(東京:米材問屋)
		米マツ平角	荷動き・価格とも横ばい。(東海:問屋) ドル安のため弱含み。(東京:問屋)	
		北洋アカマツタルキ	横ばい。(東海:問屋) 材不足が深刻になってきた様子。(東京:仲買)	
WW・RW集成材		輸入製品との競合で価格弱含み。需要若干減り気味。(東京:問屋) WWは弱い。RWも厳しい、弱くなりそう。(東京:問屋) 冬の不必要期を迎え値上げムードが消えた。(東京:問屋) WW価格やや弱気、しかし大きな値下げは無いと思う。RW:ラミナ価格高く荷動きまずまずで価格横ばい。(東海:問屋)		
合板	荷動きまずまず。多少値下がりあっても大きな下げは無いと思う。(東海:問屋) 弱含み。値上げの話はあるがどうか。(東京:仲買)			